

内容	アーバンスポーツのプロポーザルに 700 万円の税金が払われることに反対します。 自分の住む地域でも、予算がないので、道路整備の延期など、経費削減されているのに、簡単に 700 万円を出すのは、おかしい。優先順位がおかしいです。 町民の方に話をしても、アーバンスポーツに反対という人がほとんど、役場の職員の間でも、反対と言う人が多いです。 アーバンスポーツのアンケートをする予算もないので、住民の声は聞きません。役場の方も、僕たちも反対ですが、町長、副町長からのトップダウンなので、僕たちも役人も逆らうことができないのです。という回答でした。自分たちも、もっと住民の為になる、やりたい仕事があるのですが、それも後回しとなり残念です。役場内でアーバンスポーツをやりたいという人に立候補してもらったらいいのに、まったく理解ができません。 町民の意見を聞かないだけでなく、役場の職員の声も、聞かないのが町長のやり方なのですね。たくさんの人の意見を聞きながら、町民のためになることをしてほしいです。 今年、役場では 10 人以上の方が退職されたとのことですね。立場の弱い臨時雇用、パート達のことだと思いましたが、正規の職員とのことですね。 町民のために働いている職員を辞めさせないでください。これは、完全なパワハラだと思います。役場内のパワハラの委員会などが必要だと思います。 大量の退職者を出したことを、町長はどう考えていますか。
----	--

回答	アーバンスポーツのプロポーザルについての「町長への手紙」の内容につきまして、次のとおりご回答申し上げます。 今回のプロポーザルは、本町でアーバンスポーツを推進するにあたり、町民のアーバンスポーツに関する意識や現状を把握するとともに、課題や問題点、経済波及効果を分析し、将来的に交流人口、移住、定住化につながるような具体的な方策を示すため、アーバンスポーツ推進計画策定業務の支援について、知識、技術及び経験を有する事業者を選定するために行うものです。 東京 2020 オリンピックにおいて、アーバンスポーツが都市型競技として採用されたことはご存じの通りです。このような国際的な舞台で注目されるスポーツを地域でも促進することは、地域活性化や交流人口の増加につながります。また、アーバンスポーツは若者や子供たちにとって魅力的な選択肢であり、健康的な生活を推進する一助となります。加えて、アーバンスポーツには地域経済にもプラスの影響があります。イベントや大会の開催、関連業界の活性化などが挙げられます。これらの活動は地域全体の魅力を高め、観光客や新たな居住者を惹きつける要因となります。 以上の点からアーバンスポーツを通して町の将来の発展に繋げていきたいと考えています。今後も皆様のご意見等をお聞かせいただきながらより良い町づくりに努めてまいります。 次に、職員の退職に関する内容につきましてご回答申し上げます。 本町では、本年 3 月末に 10 名の正職員が退職しましたが、いずれも本人の都合による退職でありました。 今回、ご指摘いただきました職場内のパワーハラスメントについては、職員研修の実施や相談窓口の設置等により、日頃からその防止に努めております。
-----------	--

	職員の早期退職に関しては、近年、社会的に働き方の多様化が進み、転職も一般的になりつつある状況下では、官民間問わず人材の確保が課題となっております。 本町においても、限られた財源の中で、住民サービスの維持・向上と職員の勤務環境の改善を両立させることに苦慮するところでありますが、善処してまいりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。
--	--